

第19回 地域創造のための観光マネジメント講座

《理論と実践入門》 受講生募集のご案内

【日程】2025年1月25日、2月8日、22日 各土曜日

【定員】20名 【受講費用】15,000円(全3週分一括)



【趣旨・概要】

「地域創造のための観光マネジメント」とは、「地域づくりに貢献する観光」・「地域にとって有益な観光」を創造するために必要な考え方と具体的な実践方法を指します。このような観光マネジメントによって創造される観光を、本講座では「地域創造型観光」と呼びます。これは、コロナ禍を経てますます必要となっている、地域主体の持続可能な観光開発のプロジェクトとマネジメントのこともあります。

本講座は、このような「地域創造のための観光マネジメント」について全く知識や経験のない人が取り組める内容です。関連分野を初めて担当する行政職の方、観光や地域に関わる部署に配属された企業人の方、観光を通じた地域づくりに興味と意欲のある一般市民の方、観光や地域づくりに関連する教育を担当する高校や大学の先生方、観光や地域を学ぶ学生の方など、広く様々な方に受講いただけます。

【会場】

大阪公立大学文化交流センター(大阪駅前第2ビル6階)

【受講費用】

15,000円(全3週分一括) 一部のみの受講も可能です(受講費用は同額)。

※推奨書籍『地域創造のための観光マネジメント講座』学芸出版社2,400円+税(最寄りの書店かアマゾン等でご購入ください。)



【お申し込み方法】(以下のいずれか)

・NPO 観光力ネット事務局にメールでお申し込み

npo@kankoryoku-npo.jp

・GoogleFormでお申し込み

<https://forms.gle/Rf3VWRNGBny2HVgZ9>

・QRコードでお申し込み

(お申込み後、事務局よりご登録

メールアドレスにご連絡致します。)



日程・担当講師・テーマ・講座概要 (日程変更が生じる場合があります点、ご了承下さい。)

2025年1月25日(土)	
① 10:00 ~10:50	原 一樹 サステナブルツーリズムの潮流 世界的に今後さらなる展開が期待されている「持続可能な観光」の定義や考え方、政府・自治体や事業者の取り組み、国内外での先進事例や実践に関わるポイントについて説明します。
◆京都外国語大学国際貢献学部教授/NPO 観光力推進ネットワーク・関西副理事長/日本観光研究学会理事/観光学術学会理事 立教大学観光学部兼任講師、立命館大学文学部授業担当講師。哲学・倫理学・社会学理論の研究を基礎に、広く観光学の理論研究・観光教育・観光調査を行う。	
② 10:50 ~11:40	五嶋 俊彦 酒蔵ツーリズム 酒蔵を訪れ見学や試飲、購入行い、周辺地域で観光や飲食をするトラベラーが増えています。成立モデルを中心に酒蔵ツーリズムのこれからの可能性について説明します。
◆京都外国語大学国際貢献学部教授 旅行会社、ブライダル会社、観光専門学校専任講師を経て現職。日本酒の酒蔵巡りを通して地域活性化を図る「酒蔵ツーリズム」と「ガストロノミーツーリズム」を中心に研究。共著『地域活性化戦略』、共著『人はなぜ食を求めて旅に出るのか フードツーリズム入門』。	
③ 11:50 ~12:40	久保 由加里 地域資源を活かす歩く観光 歩くことで見えてくる地域の魅力と人々とのつながりが、持続可能な地域と観光を生み出す可能性を事例とともに紹介します。
◆大阪国際大学国際教養学部教授 / NPO 観光力推進ネットワーク・関西理事/ 日本観光研究学会 関西支部幹事 日本航空株式会社勤務を経て現職。専門分野は航空事業論・地域振興論。英国のフットパスを取り入れた観光を研究。大阪・光の饗宴広報プロモーション等業務 事業者選定審査会 審査員長 その他。著書に『フットパスでひらく観光の新たな展開 あるく・まじわる・地域を創造する』(ミネルヴァ書房・2024・共著)などがある。	
④ 13:30 ~14:20	堀内 史朗 地方移住者のコミュニティ 都心から地方へ移住した人たちが、その地域に新しいコミュニティをつくりあげることがあります。つくりあげられたコミュニティの意義と課題について事例をふまえて説明します。
◆阪南大学総合情報学部教授/ NPO 観光力推進ネットワーク・関西理事/ 日本観光研究学会 関西支部副支部長 京都文教大学兼任講師。数学・統計学・社会学の研究を基礎に、広く観光学の理論研究・観光教育・観光調査に携わる。専門社会調査士。臨床美術士(4級)。	
⑤ 14:30 ~15:20	石橋 仁美 近代建築物の活用とブライダル ますます多様化・オリジナル化がすすんできたブライダル業界において、その一つの選択肢として近代建築物を活用したウェディングが選ばれています。近代建築物の活用戦略のひとつとして、展開します。
◆大阪学院大学経営学部准教授/日本観光研究学会会員/日本観光ホスピタリティ教育学会会員/ホスピタリティマネジメント・スタディーズ運営委員 論文「歴史的建造物を活用したブライダルの新しい価値に関する一考察」(大阪市立大学大学院都市経営研究所・2022年)、「地域活性化の一つのコンテンツとしてのブライダルの考察」(流通科学大学論集・2021年)、地域創造型観光(共著、晃洋書房、2024)	

⑥ 15:30 ～16:20	高根沢 均 建築リノベーションと観光 古い建物をリノベーションして観光活用する動きは全国に広がっています。建物の歴史を活かしたリノベーションの手法と考え方、および観光活用の手法について説明します。
◆関西国際大学国際コミュニケーション学部観光学科准教授/ NPO 観光力推進ネットワーク・関西 理事長/ 日本観光研究学会 関西支部幹事 歴史的建造物や文化的景観、伝統的な祭りといった多様な文化遺産の保全と活用の視点から、地域の伝統文化を活かした観光振興について取り組んでいる。丹波県民局『プラットフォーム TAMBA』委員、三木市空家対策委員会副委員長等。	
2025年2月8日(土)	
⑦ 10:00 ～10:50	原田 弘之 農と食のツーリズム 「食」は旅行においてとても重要な要素で、食は農業・農村ともつながり、農や食が主役のツーリズムも広がっています。過去と現在をたどり、これからについて考えてみましょう。
◆大阪成蹊大学国際観光学部准教授/日本観光研究学会 関西支部事務局長 (株)地域計画建築研究所(アルバック)で地方自治体の観光まちづくりや地域活性化の調査・計画・事業支援等に携わり、2022 年4月より現職。著書に「これでわかる！着地型観光ー地域が主役のツーリズム」(共著、学芸出版社、2008 年)、「経営の視点から考える『新しい観光学』」(共著、千倉書房、2023 年)など。資格は、技術士(農業部門:農村環境)、認定都市プランナー等	
⑧ 10:50 ～11:40	望月 徹 地域を価値づけるまちづくり 衰退した地域が再び活性化する新たな変化の兆しの意味を「地域の価値づけ」の観点から考察する手法を説明します。ツーリズムが「地域の価値づけ」に果たす意義を共に考えてみましょう。
◆甲南大学経営学部特任教授 / NPO 観光力推進ネットワーク・関西理事/ 日本観光研究学会 関西支部幹事 大阪市立大学大学院経営学研究科グローバルビジネス専攻博士課程終了。博士(商学)。広島県観光課長などを経て 2020 年より現職。専門は地域・観光マネジメント。主著に、『地域を価値づけるまちづくり』(ナカニシヤ出版、2024年)、共著で千倉書房から『多様な組織から見る経営管理論』(2023 年)、『新時代の経営学』(2022年)。	
⑨ 11:50 ～12:40	米盛 安奈 アクセシブルツーリズム アクセシブルツーリズムの定義や動向を概観したうえで、高齢者施設におけるレクリエーション旅行やコロナ禍で生まれた介護施設向けオンラインツアーの事例を通じて、非日常体験である観光の意義を考えます。
◆大阪商業大学公共学部准教授/NPO 観光力推進ネットワーク・関西理事/日本観光経営学会理事/日本観光ホスピタリティ教育学会理事 和歌山大学観光学研究科博士後期課程修了。博士(観光学)、修士(経済学)。女子ラグビー実業団選手、追手門学院大学特任助教、大阪観光大学講師を経て現職。論文「観光のオンライン化の可能性ー介護施設におけるオンラインツアーの価値の検討ー」(大阪商業大学共同参画研究所紀要第 6 号、2024年)。	
⑩ 13:30 ～14:20	西村 典芳 ウエルネスツーリズム 健康増進がビジネスを創造し、地域活性化にも繋がり観光との関係を新しい形へと発展させ、新しいトレンドが生まれていることを説明します。
◆ 流通科学大学人間社会学部観光学科教授/日本観光経営学会会長/日本ウエルネス学会理事/一般社団法人 ONSEN・ガストロノミーツーリズム推進機構理事/公益財団法人神戸医療産業都市推進機構ヘルスケアサービス開発支援事業戦略員会副委員長/猪名川町観光振興推進委員会会長/小野市観光推進アドバイザー 専門分野は、ウエルネス。旅行会社で教育旅行の経営に携わり、2022 年より現職。「ヘルスツーリズムによる地方創生」(カナリアコミュニケーションズ 2016 年)、「ウエルネスツーリズムによる地方創生」(カナリアコミュニケーションズ 2022 年)、「温泉・森林浴と健康ー自然の癒しから未病予防医学へ」(共著・大修館書店 2019 年)。	
⑪ 14:30 ～15:20	前田 武彦 観光と動物 動物は世界のさまざまな観光場面で利用されている、観光の重要なコンテンツの一つであり、エコツーリズムには動物関連が多くあります。これまで観光学での研究が少ない動物と観光について、海外事例を踏まえて説明します。
◆神戸国際大学経済学部教授/NPO 観光力推進ネットワーク・関西 監事/日本観光研究学会 関西支部幹事 専門分野は秘境・環境・宗教に関わる観光、および観光教育。本 NPO および学会関西支部の設立時からのメンバー。日本観光研究学会では常務理事(4 年)、理事(4 年)、学術委員(6 年)他を務めた。龍谷大学国際学部で「国際ツーリズムプログラム」の設置に客員教授として関与するなど、観光業界の人材育成にも取り組む。	
⑫ 15:30 ～16:20	松田 充史 大阪・関西万博を観光から考える 2025 日本国際博覧会(大阪・関西万博)を観光から考え、万博を契機とした新しい観光や地域と触れあえる機会の創造、地域の活性化につなげられるかについて説明します。
◆大阪成蹊大学国際観光学部国際観光学科学科長・教授/日本観光研究学会理事・関西支部長/NPO 観光力推進ネットワーク・関西理事 専門分野は都市政策、観光ビジネス、イベント。京都府観光連盟観光アドバイザーや MICE・地方観光人材育成プログラム実行委員会(関西学院大学専門職大学院)、門真市教育委員会の委員等をつとめる。著書に『これからの観光を考える』(見洋書房、2017 年)、『旅館が温泉観光を活性化する』(大阪公立共同出版会、2018 年)、『ひろがる観光のフィールド』(見洋書房、2020 年)、『地域創造型観光』(見洋書房、2024 年)、等がある。	
2025年2月22日(土)	
⑬ 10:00 ～10:50	中川 渉 地域×JTB=新たな価値創造 「交流創造事業」を事業ドメインとし、観光の力を活かして地方に人流・物流・商流を創造し、地域の課題解決に取り組む JTB の地域と共に新たな価値を創造する取組みを説明します。
◆(株)JTB 京都中央支店長/NPO 法人観光力ネットワーク・関西理事/日本観光研究学会関西支部幹事 JTB 入社後、国内・海外の教育旅行事業に関わる。その後関西を中心に管理職として業務を行う傍ら、地域課題を解決するため各地域での着地型交流事業開発にも関わる。京都や大阪での着地型教育旅行交流プログラムを開発。現在は京都府域「海・森・お茶の京都」エリアを中心に、観光での地域課題解決にむけた様々な取組みを行なっている。著書:経営の視点から考える「新しい観光学」(共著 千倉書房 2023 年)	
⑭ 11:00 ～16:30	受講生による地域創造型観光プロジェクトに関するプレゼンテーションとディスカッション